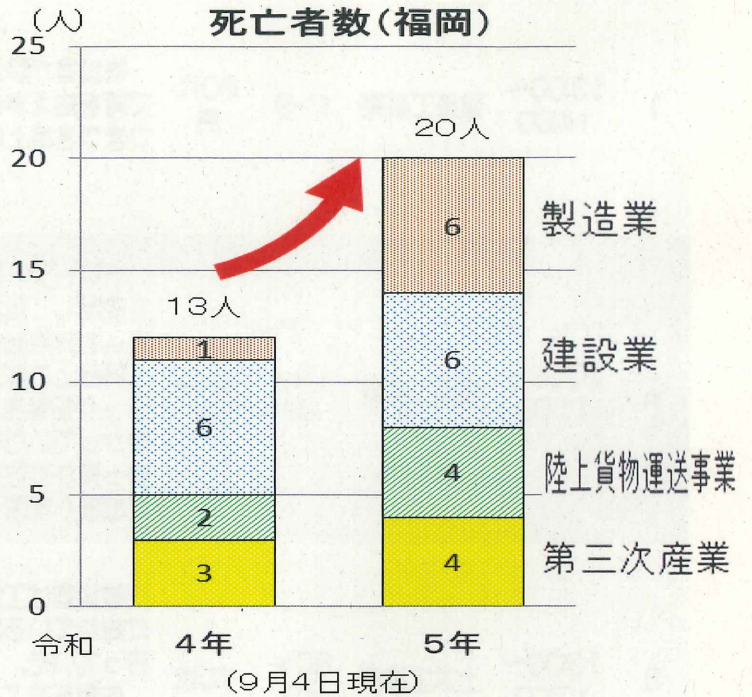


労働災害による死亡者が増加しています！

福岡県内の労働災害による死亡者は、令和4年は20人と過去最少を記録しました。しかし、令和5年に入り死亡災害が多発しており、9月4日現在で20人もの尊い命が失われています。これは、**前年同期比で7人増**という極めて憂慮すべき状況です。

また、死亡者数20人のうち6人(30%)を建設業が占めています。

このように、福岡県内の死亡災害が多発している現状をご理解いただき、本年12月末までの間、死亡災害の撲滅に向けた取組への強化を図ってください。



安全点検チェックシート

チェック項目	
<input type="checkbox"/>	安全衛生管理計画を作成し、計画的に実施していますか
<input type="checkbox"/>	店社(代表者又は管理者)による工事現場の安全巡視を行っていますか
<input type="checkbox"/>	墜落・転落災害の防止に関するリスクアセスメントに取り組んでいますか
<input type="checkbox"/>	高さ2m以上の箇所には足場等を組み立て作業床を設けていますか
<input type="checkbox"/>	墜高さ2m以上の作業床の端、開口部等に墜落防止設備を設けていますか
<input type="checkbox"/>	高さ1.5m以上の箇所には昇降設備を設けていますか
<input type="checkbox"/>	保護帽及び墜落制止用器具を適切に着用していますか
<input type="checkbox"/>	建設機械、クレーン等の作業計画について、関係者との連絡調整をしていますか
<input type="checkbox"/>	車両系建設機械との接触防止措置を徹底していますか
<input type="checkbox"/>	就業制限業務従事者の資格確認は原本で行っていますか

死亡災害発生事例（令和5年 建設業）

番号	発生時間帯	業種	労働者数	年齢性別	災害発生状況	事故の型	起因物（中分類）
1	13:00~ 14:00	建築工事業	1~9	60代 男	被災者が解体中のビル4階床面端部で荷を抱え歩いていたところ、瓦礫につまづき地上に墜落した。	墜落、転落	仮設物、建築物、構築物等
2	10:00~ 11:00	建築工事業	10~ 29	30代 男	トレーラー荷台上へ移動式クレーンを使用して荷（シートパイル1束）を積み込む作業を行っていた。 荷台上の被災者が荷の玉掛けを外しフックを巻き上げたところ、フックに掛かっていたワイヤーロープが荷に引っかかり被災者側へ倒れ、荷とともに地面へ墜落した。	墜落、転落	動力クレーン等
3	16:00~ 17:00	土木工事業	30~ 49	70代 男	被災者は工場にてコンベア上の原料に粉れている異物を取り除く作業を行っていた。 作業を終了し事務所に向かって歩いていたところ、他社の労働者が運転していた車両系建設機械に轢かれた。	はさまれ、巻き込まれ	建設機械等
4	8:00~ 9:00	土木工事業	1~9	40代 男	被災者は杭打機のオーガ（スクリュロッド）を引き抜いた後、運転停止しオーガに近づいたところ、オーガに付着していた岩状の泥（直径約60cm）が約2mの高さから落下し、被災者に当たった。	飛来、落下	建設機械等
5	11:00~ 12:00	建築工事業	1~9	50代 男	マンション新築工事現場にて深さ約4mの掘削床を敷均していたところ地山が崩壊し生埋めとなった。	崩壊、倒壊	環境等
6	21:00~ 22:00	土木工事業	1~9	70代 男	工事現場から出た廃材の収集・搬出・分別等の作業を終えた後、被災者が徒歩で会社に戻っていたところ乗用車に衝突された。	交通事故（道路）	乗物